

赤潮・貧酸素情報（２）

平成２７年４月２８日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

４月２８日に豊前海区沿岸において有害プランクトン調査を行った結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が認められました。

< 有害プランクトンの状況 >

- 南部魚礁付近でカレニア・ミキモトイの増殖（底層で海水 1ml 中に 11 細胞）が認められています。この他、宇島漁港内でも増殖が認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に 5 m 層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 本種は、昨年同時期に発生しており、コウイカ等への悪影響が懸念されております。

< 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- ４月から本種の増殖が確認されることはまれであり、魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 昨日の調査でも豊前海中部で同種の増殖が確認されています。研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（097 9-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

4/28調査結果					
番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	カニア・ミキモイ (細胞数/海水1ml)
①	宇島地先	0	16.8	31.71	0
		B-1	14.5	31.82	7
②	吉富地先	0	16.1	31.92	0
		B-1	14.2	32.10	0
③	南部魚礁	0	16.5	31.50	0
		5	16.1	31.52	0
		B-1	14.4	31.82	11
④	宇島漁港	0	16.8	31.75	3
		B-1	14.2	31.89	2
⑤	吉富漁港	0	16.2	31.99	0
		B-1	14.1	32.12	0

